

令和6年(2024年)9月19日 (木曜日)

源兵衛川を美しく

山梨の大学生 環境保全を実習

三島

山梨県の都留文科大 三島スタッフの林文雄 学生25人がこのほど、三島市を訪れ、同市が誇る自然環境について学習と体験を通じ理解を深めた。三石神社周辺と源兵衛川では美化活動などに取り組んだ。

元同大教授の渡辺豊博さんが専務理事を務めるNPO法人グラウンドワーク(GW)三島が受け入れた。同大非常勤講師で、元GW

三島スタッフの林文雄さんの集中講義「環境保全と自然再生」の一環で、自然の保全と活用先進地として三島市では2日間に渡って活動し、視察や渡辺専務による講義などが行われた。同神社周辺と源兵衛川の清掃は、同市の自然保全に大きな役割を担ってきたボランティアについて、理解を深めるため

自分たちがボランティアとなつて環境保全を体験した。

学生は川や周辺の草刈り、ごみ拾いに汗を流した。刈った草は大きな袋に詰め、川の流に足を取られないよう注意しながら運び出した。同市出身の河上颯汰さん(2年)は「子どもころ、楽しく遊んだ川は多くの人の支え、努力によって楽しく遊べる川になつてい



刈り取った草を運ぶ学生たち＝三島市内

たと実感できた。この一った作業が次の世代につなげていくためだ」と語り「と苦にならない」と語